

生日用品委託販賣所設置の件

亀戸支部提出

理由

一労働者は資本主義社会の眞実の生産者でありながらその受ける労賃は資本主義の発展と共に益々低くなる傾向にある

二生産者たる労働者はまた一面消費者である而して資本主義社会は利潤の為に總てを制産するものであるが特に秋口に於ては商品は秋階の中間商人の手を通ずる故に物價は昂騰し労働階級の軽くなり行く財布より一層多くの金が抜き取りの生活は益々苦痛を増して行く

以上の苦痛から逃れようとするは積極的の労賃制度全廃に回す最良の策に
三消極的抗争として中間商人の中間搾取を廃して生産者より直接消費者に向ふ即ち消費組合運動を起す

を中核にならぬ

三昭和参事年度組合同盟大会に於ては消費組合運動促進の件は可決せられたる

四帝口主義時代の労働組合運動は益々政治闘争化を來し政治闘争は労働階級に取れば必要欠くべからざるものとなる
政治運動の費用を直接吾等の財布より支出する事は帝口主義的搾取下にある労働階級の苦痛とするところであり消費組合にも利益の一部を以てこれが必要にあることは現在の急務である

五斯くの如き消費組合を設置する事は理想であるがこれには種々の困難と危険が伴ふ。例へば購買に不慣れのため思はぬ不利を招くか如くである。此の危険を防ぐ方法としては信用する商人に日用品の委託販賣を行はしめることである。而して純益を商人と組合に於ては適當の比率にて